

平成31年度 東京都立竹台高等学校 学校経営計画

東京都立竹台高等学校長  
八百板 真弓

<p>目指す学校像</p>	<p>本校の校訓 「共に学び 共に進む」 本校の教育目標 ① 人間性豊かで、互いの人格を尊重し、社会の発展に貢献できる人材を育成する。 ② 人権尊重の理念を基盤に、生徒が高い「規範意識」をもち、「感謝・礼儀・思いやり」を励行する。 ③ 確かな学力を向上させ、自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間を育てる。 ④ 特別活動、部活動の振興を通して、生徒の心身を鍛える。 ⑤ 生命尊重と安全を常に心がける人間を育てる。 教育目標を実現し、変化の激しいこれからの社会を生き抜く、知・徳・体のバランスのとれた人間を育成する学校を目指す。</p>			
<p>中期的目標と方策</p>	<p>普通科中堅校として、基本的な生活習慣を身に付けさせ、多様な生徒の学力向上及び進路実現に向けて、進学指導体制の改善を図り、生徒の学力に応じた指導体制を強化する。生徒及び保護者の満足度の高い学校づくりを推進し、地域との連携を強化し、地域から信頼される、地域に貢献する人間を育成する。 なお、会議の終了目途時刻の明示、効率的な職務遂行、メリハリを付けた働き方等、学校における働き方改革を推進し、教職員のライフ・ワーク・バランスを一層推進する。</p>			
	<p>各組織</p>	<p>今年度の取組目標と方策</p>	<p>今年度の重点目標</p>	<p>関連する数値目標 (30年度実績)</p>
<p>学校全体</p>	<p>組織的學校経営の推進 PDCAサイクルに基づくマネジメントシステム カリキュラム・マネジメント 「チーム竹台」 学び続け、協働する教職員。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画調整会議 検討充実。</li> <li>・主幹会議 主幹教諭3名の連携・協力、学校改革牽引。</li> <li>・教科主任会の検討課題の焦点化、充実。</li> <li>・主幹教諭、主任教諭11名によるミドルマネジメント。</li> <li>・教職員の積極的な情報発信。</li> <li>・グランドデザイン作成、新教育課程編成、大学入学共通テストへの対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の共有化 報告・連絡・相談の徹底。</li> <li>・組織目標と年間計画、学期ごとの振り返り、自己評価と次年度に向けて。</li> <li>・引継(資料)の改善 ネットワーク職員室フォルダの整理、活用。</li> <li>・電子起案の推進</li> <li>・分掌、学年、教科間の連携強化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グランドデザイン作成 12月まで</li> <li>・主幹会議月1回(30年度7回)</li> <li>・教科主任会定例開催(30年度月1回)</li> </ul>
	<p>系統的なキャリア教育の推進 進路指導部が方針を立て、主導し、学年・教科と連携・協力して取組を充実、強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒情報の共有化</li> <li>・一人一人の生徒の学習状況把握(入学から卒業までの推移データの整備・活用)ときめ細やかな対応。</li> <li>・上級学校説明会等への積極的参加、情報収集・活用。</li> <li>・出願指導に係る教員研修、卒業生のデータの活用、ガイダンス、個別相談の充実。</li> <li>・「都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」の活用。</li> <li>・同窓会(さつき会)との連携、キャリア講座、課外授業。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拡大学年会の充実</li> <li>・成績処理ファイルの活用</li> <li>・模試の結果分析会</li> <li>・目線合せの実施</li> <li>・第一志望の早期明確化</li> <li>・データに基づいた面談、三者面談の実施。</li> <li>・FINE SYSTEM活用による個別指導</li> <li>・classi の活用(1、2学年)。</li> <li>・大学入試センター試験、大学入学共通テスト試行調査問題の分析、活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援教育プログラムの活用 2学年5回(30年度4回)</li> <li>1学年1回(30年度3回)</li> <li>・同窓会との連携 2学年キャリア講座(1回)(30年度2回)</li> <li>1学年OBOG 課外授業(1回)(30年度1回)</li> </ul>
	<p>【人権教育研究指定校】 人権教育推進委員会を核として推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権課題について、理解し、考え、差別をしない／させない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の関心を高め、身近な問題として人権課題について考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校人権講演会 11/21(30年度11/20)</li> </ul>
	<p>生徒・保護者・地域から信頼される教職員 教育公務員としての高い使命感・倫理観、服務規律の遵守。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服務規律の徹底</li> <li>・校内規定の整備</li> <li>・情報資産の管理の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の保護、管理の徹底。</li> <li>・クレンジングの励行 「4S」(整理・整頓・清掃・清潔)の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服務事故防止研修4回(30年度6回)</li> <li>・服務事故ゼロ</li> </ul>
	<p>【地域密着型教育活動推進校】 地域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に開かれた学校づくり</li> <li>・地域の公共機関との連携に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都立学校開放事業実施</li> <li>・小・中学校等との連携。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営連絡協議会協議委員・荒川区教育委員</li> </ul>

		よる生徒の健全育成		会事務局統轄指導主事。 ・施設開放 テニスコート1面 24団体、12日。(30年度 20団体49日) ・荒川区立小・中学校との 交流活動2回
	<b>国際理解教育の推進</b> Society5.0 for SDGs等 が目指す、新しい時代に 必要となる資質・能力の 育成。	・国際理解教育 東京都国際交流コンシェルジュ の活用 ・外国語教育 JET、ALTの活用 TGG(TOKYO GLOBAL GATEWAY) における学習 第二外国語履修の促進 ・日本の伝統・文化理解教育	・【在京外国人生徒対象 入学者選抜実施校】外国 にルーツをもつ生徒活躍の 場、相互理解の深化。 ・3学年必選「中国語」、 自選「朝鮮語」「フランス語」 の充実。 ・海外修学旅行委員会設 置	・TGG 1学年1/17(30年 度1学年1/11)。 ・海外修学旅行実現に向 けて、校内研修年2回実 施
	計画的、組織的な人材育 成	・OJT、校内研修の充実 PT「竹台HOPE」開催 【人権教育研究指定校】 ・教員の授業力の向上 【AL推進校】教員相互の授業 参観、先進校視察 校内・外の優れた実践に積極 的に学ぶ。 【明海大学との「教育連携に 関する協定」締結校】	・校内研修の充実 人権学習会 ・ALの視点からの授業 改善、ICTの活用。 ・授業公開週間(4月)、 授業公開(10月)の活用。 ・紀要第3号作成発行	・PT5回(30年度4回) ・人権学習会1回(30年 度人権フィールドワーク実施) ・研究授業・研究協議 各教科1回(30年度研究 授業6教科32回) ・授業見学年間4時間 以上、「この授業見よう」 (30年度(36名中)4時間 以上16名(44.4%)) ・東部レインボー参加 ・指導教諭の模範授業参 観 各教科1回以上(30 年度5教科1回以上実施)
	<b>ライフ・ワーク・ balan スの推進 学校におけ る働き方改革の推進</b>	教員の意識改革 職場風土の醸成の推進	会議の目的、終了目途時 刻の明示 マイ定時退庁日設定 20時完全退勤日設定	・週当たり在校時間が60 時間を超える教員ゼロ
	募集・広報活動の充実 総務部、募集対策委員会 が方針を立て、主導し、 全校連携・協力して取組 を充実、強化する。	・学校の特色のより一層の明 確化 ・入学者選抜の評価・検証及 び改善 ・情報発信の工夫・改善(「学 校案内」の刷新、ホームペー ジのリニューアル、適時適切 な更新、都立学校魅力PR動 画「まなびゆ〜」制作、「竹 台高校便り」。 ・家庭・地域等の本校に対す る要望の把握及び対応。	・教員による計画的、組 織的な近隣中学校訪問 ・夏季休業日学校見学 会実施(12回)。生徒会 役員生徒の活用。 ・合同説明会等外部会場 への一人1回以上参加。 ・中学校訪問一人3校、 塾訪問一人3塾以上。 ・学校説明会、個別相談 会の工夫・改善。 ・中学校との連携強化 ・新入生対象入学アンケート 調査(4月)実施。本校に 対するイメージの把握、次 年度募集対策への活用。	・中学校訪問200校(30 年度193校) ・塾訪問数126塾以上(30 年度57塾) ・中進対1.0倍以上(30 年度0.80倍) ●入学者選抜分割前期最 終応募倍率1.3倍(30年 度1.04倍) ・入試対策講座5教科2 回(30年度2回) ・文化祭来校者数1200名 以上(30年度1206名) ・ホームページ更新200 回以上(30年度171回) ・「竹台高校便り」12号 発行(30年度3号発行)
	教育環境の改善・充実 校舎改築及び創立80周 年準備	・中長期的な教育環境の改 善、地域の期待に応える学校 づくり	・新校舎建設工事対応、 代替施設借用 荒川区 立諏訪台中学校第2グラ ウンド、駒沢リビック公園 総合運動場第2球技場 ・新制服の細部検討、周 知	・保健体育科、生活指導 部、経営企画室の連携・ 協力 ・制服検討委員会を核と して6月までに新制服を つくる。
教科	<b>人間力の向上</b> 学力向上	・学力スタンダードに基づく 指導 組織的・効果的な指導	・学力調査、結果分析、 追指導による学力の確	・学力調査得点 55%以上 ・AL型授業を行う教員

	<p>【アクティブ・ラーニング推進校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科を中心とした組織的な取組(全員)</li> <li>・AL 型授業の指導法、授業形態の開発と教員のスキル向上</li> <li>・AL 型授業を通じた生徒の学びの変容、深化</li> </ul> <p>体力向上</p> <p>【パワーアップハイスクール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意識の涵養</li> <li>・理論的説明</li> <li>・実践的指導(ダブルタッチ等)</li> <li>・振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科会(月2回)の充実</li> <li>・相互授業参観の活用</li> <li>・自主学習時間の伸長</li> <li>・土曜講習の充実</li> <li>・読書活動の推進、言語活動の充実</li> <li>・ICT 機器を活用した効果的な教科指導の工夫</li> <li>・英語教育の改善・充実-JET、ALT の活用-</li> <li>・主権者教育の推進(地歴・公民科等)</li> <li>・消費者教育の推進(家庭科等)</li> <li>・オリンピック・パラリンピック教育の推進、集大成 各教科、2、3 学年総合的な学習の時間の学習内容・活動と関連付け 5 つの資質の育成、特に「豊かな国際感覚」の育成を図る。4×4 の取組、大会後のレガシーの構築を見据えた取組を進める。(全教科合計、年 35 単位時間)</li> <li>・体力・運動能力の向上 体力テスト(6月)実施</li> </ul>	<p>実な定着。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AL の研究と実践。生徒に課題意識をもたせる。生徒相互の学び合い(教え合い)を実現する。アセスに係る問い、振り返りを工夫する。問題に気付かせ、解決策の取組につなげる。リ認知。</li> <li>・【授業のポイント】授業スキル(伝達、生徒の状況把握)、授業デザイン(学習目標の明確化、課題解決を通じたアウトプット)、学習成果(学力・技能の向上感)や負荷の感じ取り方。</li> <li>・学年との連携 課題提出の徹底、タイムマネジメント指導、支援。</li> <li>・読書の全校的、継続的奨励。</li> <li>・スピーチ、ディベート等の奨励。</li> <li>・世界ともだちプロジェクト(グループ 12)交流。</li> <li>・体力テスト事前指導徹底</li> </ul>	<p>100%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教科における指導方法、教材の蓄積と見える化(紀要)。</li> <li>・土曜講習 1 学年 6 回(30 年度 5 回)、2 学年 10 回(30 年度 9 回)、3 学年 10 回(30 年度 20 回)、参加延 400 名以上(30 年度 377 名)。</li> <li>・本校図書館の貸出冊数 3000 冊以上(30 年度 1696 冊)。</li> <li>・不読率 22.3%未満(29 年度 21.5%)</li> <li>・資格取得 英検、漢検の準 2 級レベル以上合格 15 名以上(30 年度英検 13 名、漢検 3 名)</li> <li>・体力テスト 全学年都平均を上回る。「アクティブプラン to 2020」目標値達成。</li> </ul>
学年	<p>在り方生き方を考えさせる</p> <p>基礎的・汎用的能力の育成</p> <p>自己実現に向けての指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームルーム活動、2、3 学年総合的な学習の時間等を通じて、在り方生き方を考えさせるとともに、「基礎的・汎用的能力」を身に付ける意義を繰り返し理解させる。</li> <li>・週末課題 小論文指導</li> <li>・分野別指導(全学年)</li> <li>・志望理由書作成指導(3 学年)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1 学年モチベーションの充実(高校における学習内容・学習方法、自主学習の重要性等の確認)</li> <li>・朝学習、放課後講習。</li> <li>・自習室開設、活用促進。</li> <li>・残勉(定期考査前学校で学習)</li> <li>・「人間と社会」の計画、実施(2 学年)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自習室開室 135 日以上(30 年度 160 日開室)</li> <li>・拡大学年会 1、2 学期各 1 回。</li> </ul>
教務部	<p>人間力の向上</p> <p>学習習慣の確立ー自主学習時間の伸長ー</p> <p>生徒一人一人の「確かな学力」の定着と伸長</p> <p>方針を立て、主導し、学年、教科と連携・協力して取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習と生活「時間」管理(記録)指導</li> <li>・定期的な自主学習時間調査</li> <li>・生徒による授業評価アンケートの実施及び結果分析年 2 回</li> <li>・長期休業日中の講習、補習</li> <li>・教育課程の評価・検証・改善</li> <li>・授業改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習時間調査(各定期考査)実施、集計、結果分析、フィードバック。</li> <li>・生徒による授業評価アンケート(7 月、12 月)実施。</li> <li>・長期休業日中の組織的な講習、補習の計画、実施、振り返り。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自主学習時間 1 日 1 時間以上 70%(30 年度 1 学年 55.2%、2 学年 69.6%、3 学年 67.4%)。</li> <li>●生徒による授業評価アンケート(肯定的評価) 75%(30 年度 1 学年 50%、2 学年 54%、3 学年 49%)</li> <li>・長期休業日中の講習延べ 400 時間以上、参加延 1000 名以上。(30 年度 58 講座 272 時間参加延 598 名)</li> </ul>
生活指導部	<p>人間力の向上</p> <p>規範意識の向上</p> <p>生活指導指針に基づく指導</p> <p>方針を立て、主導し、学年、教科と連携・協力して取り組む。</p> <p>安全教育の推進(生活安全、交通安全)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「身に付けさせる規律・規範の全体計画」に基づいて、遅刻防止、頭髪、服装・身だしなみ指導の徹底を図る。</li> <li>・挨拶の励行、マナー尊重の精神の育成。</li> <li>・朝、昼休みの正門等における指導、授業時巡回を全教員当番制で行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動目標:5 分前集合遅刻をしない/させない。チャムとともに授業開始。時間を守らせる。遅刻のデータ集計、報告。</li> <li>・行動目標:挨拶の充実、自転車安全走行指導。傘の使用、雨天時傘差し厳禁の徹底。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻者 1 学年 7%以下、2 学年 10%以下、3 学年 13%以下(30 年度年間延 19160 回、16%)</li> <li>●学校評価アンケート(きまりを守ることや良識を育てるような教育)(地域の否定的評価) 30%未満(30 年度否定的評価 50%、</li> </ul>

	<p>自信と誇りの持てる学校 (PRIDE&amp;BRAND) 自治意識、帰属意識の向上 豊かな人間性の育成</p> <p>安全・安心な学校 心身の健康づくりの推進</p> <p>いじめの総合対策に基づいた対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフティ教室、薬物乱用防止教室の充実(危険ドラッグ等)。</li> <li>・情報モラル教育の推進</li> <li>・部活動、生徒会活動及び学校行事の充実・振興。</li> <li>・体罰禁止・根絶</li> <li>・定期的な部活動調査(部員数、活動状況、活動の成果等)</li> <li>・地域行事への積極的参加</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺対策に資する教育の推進</li> <li>・(保健)健康づくりの推進</li> <li>・アレルギー疾患対策</li> <li>・(美化)校内・外の環境美化とリサイクル意識の育成</li> <li>・不登校・中途退学の防止</li> <li>・いじめの未然防止、早期発見・早期対応 「いじめ対策委員会」を核とした取組を行う。アンケートを年間3回以上実施する。 教育相談体制の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌指導</li> <li>・「SNS 東京ルール」改訂版を基に「SNS 竹台高校ルール」の見直し、改訂。</li> <li>・全教員の組織的な取組による部活動指導</li> <li>部活動顧問による部員の学習、生活への積極的な関与、指導。</li> <li>・部活動の活性化</li> <li>・部活動生徒等を核とした奉仕的活動の充実、地域との連携の深化。</li> <li>・命の大切さを実感させる、様々な困難・ストレスへの対処方法を身に付けさせる(SOSの出し方等)、心の健康の保持に係る教育を行う。</li> <li>・学校医等との連携強化</li> <li>・イベント使用の研修等</li> <li>・ゴミ分別の指導の徹底</li> <li>環境委員による点検、取組のよいウラスを顕彰。</li> <li>・スクールカウンセラー等との連携による相談しやすい学校づくり</li> </ul> <p>1 学年生徒全員面接</p>	<p>分からない21%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頭髪、服装・身だしなみ指導の徹底(ヒール、女子制服スカート丈改造厳禁、化粧禁止等)</li> </ul> <p>●1 学年生徒部活動加入率 70% (30 年度 64.2%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動定着率 70%以上 (30 年度調査実施せず)</li> <li>・体罰ゼロ</li> </ul>
進路指導部	生徒一人一人に応じた適切な進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一志望の実現</li> <li>・進路情報の提供</li> <li>・望ましい勤労観・職業観の育成</li> <li>・インターンシップの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学、就職希望者に対するきめ細かな指導。</li> <li>・進路の手引きの充実</li> <li>・「進路通信」定期発行</li> <li>・1 学年進路希望、2、3 学年第一志望の明確化</li> <li>1 学年末までに 85%、2 学年末までに 90%、3 学年 1 学期末までに 95%。</li> <li>・進路変更の減少</li> <li>・大学一般受験の奨励、増加。</li> <li>・理科系進学指導の充実</li> </ul>	<p>●4 年制大学進学率 40% (30 年度 74 名、35.2%)</p> <p>●日東駒専以上現役合格 15 名 (30 年度 9 名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国公立大学 1 名合格 (30 年度 0 名)</li> <li>・就職内定率 100% (30 年度 100%)</li> <li>・進路未決定者 10%未済 (30 年度 14.8%)</li> </ul>
総務部	<p>安全教育の推進(災害安全)</p> <p>【関係機関と連携した防災教育実施校】</p> <p>上級救命講習受講</p> <p>社会貢献の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育の推進</li> <li>「自助」「共助」の精神に基づいて適切に行動できるようにさせる。</li> <li>・奉仕体験活動の推進</li> <li>「人間と社会」の活用</li> <li>・PTA との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携した防災教育の推進</li> <li>・防災活動支援隊の活動の充実</li> <li>・「防災ハート」の活用</li> <li>・地域の資源、教育力を生かした奉仕の実施。</li> </ul>	<p>上級救命講習 2 学年 2/5 (30 年度 2 学年 3/18)</p>
経営企画室	適正な予算執行と更なる経営参画 教育環境の更なる整備、充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備 校舎内外の安全を保つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の「顔」としての役割、電話対応や接遇の改善、充実。</li> <li>・自律経営推進予算の適正な編成、執行。</li> <li>・施設・設備の定期点検、教育環境の整備。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話対応時名乗ることの励行。</li> <li>・センター執行の増加、予算の有効活用。</li> </ul>